

グリーンボンド充当状況および環境改善効果等のレポーティングについて

- 株式会社山口フィナンシャルグループ グリーンボンド・フレームワークに基づき、グリーンボンドの充当状況および環境改善効果につき下記の通りご報告いたします。当該レポーティングはグリーンボンドの残高が存在する限り、年次で開示していく予定です。
- なお、ルックバック期間に該当する既存融資残高については、2022年4月1日からスタートしました「YMFG中期経営計画2022」と平仄を合わせ、2022年4月1日以降で実行された融資について充当しております。

■ 充当済残高（基準日 2023年6月30日）

項目	金額	件数
未償還グリーンボンド残高	22,400百万円	-
発行諸費用	130百万円	-
グリーンボンド手取金	22,270百万円	-
充当済残高	22,270百万円	37件
新規融資残高（2022年10月31日～2023年6月30日）	12,488百万円	30件
ルックバック期間に該当する既存融資残高（2022年4月1日～2022年10月30日）	9,783百万円	7件
未充当残高	0百万円	-

（参考）社債概要

社債の名称	第8回期限前償還条項付	第9回期限前償還条項付
	無担保社債（実質破綻時免除特約及び劣後特約付）（グリーンボンド）	無担保社債（実質破綻時免除特約及び劣後特約付）（グリーンボンド）
発行額	24億円	200億円
年限	10年（期限前償還条項付）	
発行日	2022年10月20日	2022年10月31日

■ 適格クライテリア別

項目	金額	件数	環境改善効果等
合計	22,270百万円	37件	
再生可能エネルギー	21,970百万円	35件	年間CO ₂ 排出削減量（理論値） 18,643t-CO ₂
太陽光発電	20,792百万円	34件	年間CO ₂ 排出削減量（理論値） 18,634t-CO ₂
風力発電	1,178百万円	1件	年間CO ₂ 排出削減量（理論値） 9t-CO ₂
グリーンビルディング	300百万円	2件	取得認証の種類および評価 iii.CASBEE：Aランク以上：2件

※年間CO₂排出削減量（理論値）の算出方法は、以下の通りです。

なお、年間CO₂排出削減量（理論値）は、2022年7月1日から基準日2023年6月30日までの期間で計算しております。

年間CO₂排出削減量 = A×B×C×D×E

A：年間発電量（理論値）（MWh/年）

B：電力CO₂排出係数 0.434（t-CO₂/MWh）

出所：「電気事業者別排出係数（特定排出者の温室効果ガス排出量算定用）－R3年度実績－R5.7.18一部追加・更新」環境省公表

C：2022年7月1日から基準日2023年6月30日までの融資時期または設備稼働開始時期を考慮した調整

D：対象設備の総投資額に占める当社グループ銀行の融資残高の割合

E：当社グループ銀行の融資残高に占める充当残高の割合